

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

# ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com

3月末現在の会員数553人

(男性343人・女性210人)

## 令和4年度事業計画(案)決まる

令和4年度の「事業計画」(案)と「収支予算」(案)が2月25日開催の理事会で承認された。当センターを取り巻く環境は、定年の引き上げや継続雇用制度の導入など雇用情勢の変化とともに会員数が減少傾向にあり、事業運営において厳しい状況となっている。今年度は、会員及び役員が一丸となって「入会の促進」の強化と「退会者の抑制」による会員増を図り、事業の安定運営を目指す。

### 1 基本方針

- (1) 高齢者の入会促進と就業機会の確保・拡大
- (2) 安全・適正就業を推進し魅力あるシルバー人材センターの実現
- (3) 組織の充実・強化と運営基盤の強化
- (4) 公益目的事業の着実な実施と地域社会への参加活動推進

### 2 実施計画

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

#### ① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、これをその能力、希望等にに応じて請負又は委任の形式によ

り就業機会を提供する。また、ローテーション就業やワークシェアリングを実施し、仕事の分かち合いに適切に配慮していく。

### 数 値 目 標

会 員 数	580人
入 会 率	1.5%
受 注 件 数	2,000件
就 業 延 人 員	49,500人日
就 業 率	78%
契 約 金 額	308,500千円

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

#### ① 有料の職業紹介事業

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事の求人を受け付け、そのような仕事を希望す

る高齢者のために有料の職業紹介事業を行う。  
ア 数値目標  
・ 求人数 1件

② 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)  
・ 有料職業紹介事業収益 1千円

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲内において、派遣労働を希望する会員のために労働者派遣事業を行う。  
ア 数値目標  
・ 受注件数 7件  
・ 労働者派遣事業収益 1200千円

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

就業上必要な技能、知識を就業意欲のある高齢者に付与することにより、実際の就業に結びつけるとともに、より広い就業分野での仕事の確保提供をするため、次のとおり講習会を行う。

- ア 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育講習会
- イ 駐車場整理業務講習会
- ウ 接遇マナー講習会
- エ 介護研修・講習会

(2面へ)

(1面から続く)  
オその他各種講習会

**(4) 前述(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会活動を推進するための諸活動**

**① 普及啓発**

本事業への信頼と理解が得られるよう、一般市民、事業所、官公庁に対し、本事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知するとともに、高齢者自身の事業に対する意識啓発を図るため、次のとおり取り組む。

ア 独自の普及啓発イベントの開催  
イ 普及啓発チラシの配布及び情報誌「ニュースゆんたく」の発行や「ホームページ」「SNS」等を活用した情報発信  
ウ 各種イベントへの参加

**② 安全・適正就業の推進**

高齢者が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるように、安全意識の高揚と啓発活動を行うため次のとおり取り組む。

ア 安全・適正就業推進大会の開催  
イ 安全パトロールの強化  
ウ 安全・適正就業委員会の開催と安全対策推進実施計画の策定

エ 就業日報(裏面にある安全就業点検表)を活用した健康管理の啓発

オ 「ニュースゆんたく」や「ホームページ」「SNS」等による情報の発信、周知等

**③ 調査研究**

本事業の実績を集計するほか、時代の要請に対応した事業展開を図るため、次のとおり調査研究を行う。

ア 高齢者の就業に対する意識調査に関する調査の実施(就業相談等)  
イ 必要に応じ、他センターの情報を収集し、当センターの事業運営に反映させる

**④ 会員の拡大**

会員が減少する中で、新規会員を拡大するため、次のとおり取り組む。

ア 入会説明会及び就業相談会の強化  
イ 会員による「一人一会員」運動の継続的推進  
ウ 女性会員の増強  
エ 自治会等との連携による一般家庭へのチラシ配布

オ 「ニュースゆんたく」や「ホームページ」「SNS」等による情報の発信

**⑤ 就業分野の開拓・拡大**

地域の一般家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者に相応しい仕事を開拓するとともに、高齢者の就業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を次のとおり行う。

ア 官公庁(市長、市議会議長、担当部局等)への要請

イ 事業所、自治会、関係団体等への訪問

**⑥ 相談、情報提供**

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、地域における働く高齢者のためのワンストップサービスセンターとして、雇用、就業、ボランティア活動等に係る相談、情報提供を一般市民や高

齢者に行うため次のとおり取り組む。

ア 入会説明会の開催  
イ 就業相談

**⑦ 社会参加活動の推進**

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に「できることを」・「できる範囲で」行う社会参加活動を一般市民と連携して実施する。また、高齢に伴い就業を離れた高齢者に対しては、高齢会員等の生活環境に合わせたボランティア活動等の社会活動の機会を推進していく。

ア 下校時の児童の安全パトロール  
イ 草刈・清掃ボランティア  
ウ その他のボランティア等

**3 組織の充実・強化と運営基盤の強化**

「自主・自立」「共働・共助」の理念に基づき、地区・地域班、職群班の組織力向上と地域に貢献するセンターとして体制の充実・強化に努めるため次のとおり取り組む。

**(1) 会議**

ア 定時総会の開催

イ 理事会の開催

ウ 専門委員会の開催

エ 地区総会の開催

オ 地区長会及び地域班長会の開催

カ その他必要な会議の開催



## 地区活動について意見交換 第2回地区長会開催

令和3年度の第2回「地区長会」が3月4日、シルバーウィークプラザ執務室で開催された。上原秀雄理事長は冒頭の挨拶で「地区長の皆さんには、日頃より地区活動に対し感謝するとともに、これからもセンター事業への協力を得ながら、地区長の負担過重にならないよう事務局と一緒に頑張って対応していきたい」と地区活動の重要性を語った。続いて、事務局と懇談し地区活動について意見交換。地区長らは「コロナ禍で集まりが持てず、地区活動は厳しい現状にある。地区長らをはじめ役員の後任確保が困難で難しい状況にある」と報告するとともに意見や要望が続出した。



## 「選挙公報」の配布説明会開催 市選管から業務受託



当センターは、新たな就業として「選挙公報」の全戸配布業務を沖縄市選挙管理委員会から受託。この業務は初めてで、業務説明会を3月14日〜24日の日程で8中学校区ごとに、ワークプラザ大会議室で実施した。主に草刈班のメンバーを招集し、ポストインク配布などについて説明した。今年度は、参院選や県知事選をはじめ市議選など統一地方選挙の当たり年。当日の説明会は、今年24日に実施される予定の沖縄市長選挙に係るものとなっている。

### 第12回 理事会

### 会員数減少傾向続く ―2月実績―

第12回理事会が3月25日、シルバーウィークプラザ会議室で開催された。

議案第1号「正会員の入会」については、4人（男性3人・女性1人）が承認され、その結果、3月25日現在の会員数は553人（女性210人・男性343人）となった。なお、2月の退会者は0人。

承認第1号「理事及び監事候補者選考委員の選任」については、公益社団法人沖縄市シルバー人材センター理事及び監事候補者の選考に関する規程第3条第2項の規定に基づき、原案どおり承認された。

令和4年2月実績では、会員数549人で16人の減（▲2%）、就業実人員319人で増減なし、就業延人員3100人で61人の増（2%）、配分金約1652万円で約64万円の増（4%）、契約金額約2121万円で約86万円の増（4%）となった。

（いずれも対前年同月比）

### 無事故記録

令和3年3月12日〜  
“4年3月25日現在

13日

# 仲間を募集しています！



## 60才からの「もっと」を

# 大応援する。

公益社団法人  
沖縄市シルバー人材センター

約 550 名の会員が、就業や社会奉仕活動等ががんばっています。

# ひゃみかち!!

●お問い合わせください。

電話 (098) 929-1361

### ◇ 4月の予定 ◇

- ・ 8日(金) 午前10時  
新会員入会説明会
- ・ 22日(金) 午前10時  
第1回理事会
- ・ 27日(水) 午前9時～  
刈払機取扱い作業者  
に対する安全衛生教育

### 編集後記

令和4年の度事業計画・予算(案)が理事会で承認され、当センターの新年度事業が始動した。それに先駆けて、3年ぶりの地区総会が予定されたが、実際に開催にこぎつけたのは、山内中校地区と安慶田中校地区。他は、コロナ禍の影響が大きく、地区の組織体制と会員の減少が不利益をかけ、開催を見送る羽目に。シルバーの理念の実現と発展を目指す上で体制強化は不可欠だが、この事態は由々しきものだ。そうした中でセンターは、新たな就業として選挙公報の世帯配布を受託した。シルバーによる担当区域での配布作業は、今後の多様な就業機会の確保に繋がり、地区の活性化への波及効果が期待できるのでは。

編集  
東條 正躬  
大城 博